11 12

7, 6, 5,

政

計

行

政



Better Data. Better Lives. を目指して

よりよい統計のための国際協力

人や物がグローバルに動く世界では、国際的な視点で政策を考える必要があり、その ための統計が、国際機関によって作成されています。これらの統計が十分にその役割を 果たすためには、各国及び国際機関間の協力と、各国の統計を比較するための国際的な 基準作りが重要です。私は、今、国際統計管理官室で、政府横断的な統計を国際機関に提 供し、国際基準を策定するための取組に携わっています。

当室の業務の醍醐味は、統計に関する最新手法から、途上国の統計開発における課題 まで、幅広いテーマに関する議論をフォローできることです。同時に、グローバルな議論 に乗り遅れないよう、限られた時間で、しかも英語で情報を集め、各省と協議し、我が国 として最善の対応を検討することは容易ではなく、日々、勉強すべきことが尽きません。

今年は、国連の定める世界統計の日に向けた取組も予定されており、ますます気合い が入ります。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

統計=大きな絵を描くための仕事

統計作成は数字と格闘するだけの仕事と思っていませんか?大先輩日く「統計は 社会の姿を捉えるものだが、そのために我々は社会を見て統計を作らなければなら ない」。統計作成のプロフェッショナルになるためには、専門を深める以外にも、社 会を見て、統計作成の多岐にわたる過程(調査の企画、実施、データ集計、審査、公表) を見通す力を磨くことが求められます。

総務省には、プロフェッショナルになることを後押しする、統計の作成手法から ICTを利用した統計の活用方法まで様々な研修に参加し専門を深める機会や、地方 又は海外で行われる会議に参加し視野を広げる機会があります。関心次第で、自分 の世界が広がる面白さを感じられる仕事が、あなたを待っています。

どう組織に貢献するかは、あなたの関心次第ですが、国の実態を把握し様々な政 策の効果を計る統計で、我が国が大きな絵を描くために、よりよい統計データ、より よい暮らしを目指して、共に総務省で働きませんか?



とある一週間

朝はメールの確認で始まる。 海外との時差も考え、対応順を 決め、一日がスタート。

外交ルートからの依頼を受け、 関係する省の統計担当に対応 状況を確認。

国際基準に対応した統計デー タ提供のためにシステム担当 と論点を整理。

各省から受領したデータをとり まとめ、国連へ提出。 ほっと一息。

●金曜日

来週出張する国際会議の資 料が追加で提示される。会議 直前に提示されること多し。



当省の統計部隊の多くは、新宿の若松庁舎で勤務しています。天気の良い日のランチ は、山手線の内側で一番高いという箱根山のある戸山公園でピクニックしたり、迷路 のような住宅街を抜けて、お気に入りのお店に行くこともできます。 (本稿の写真は、ランチメイトでカメラが趣味の先輩が撮影して下さったものです。)



先量四二

密着!若手評価マンの一日

10:30 AM

調査内容の検討



9:30_{AM}

情報収集

出勤したらまず調査テーマに関す る情報収集。新聞やインターネット の記事のチェックは欠かせません。 今日は省内の図書館を活用して、調 香テーマについて知識を深めます。



19:00_{PM}

リフレッシュ

仕事を早めに終わらせ、今日は同 期と飲みに。仕事の話を相談した り、プライベートの話で盛り上が ったり、気がつけば終電間近に。

ひとことメッセージ

今、私は国の行政の問題点を把握し、必要な改善を求める「行政評 価」という仕事に携わっています。正しい「評価」をするためには、さ まざまな人の知恵や知識、多くの経験が必要です。上司や先輩と一緒 に悩み、知恵を出し合いながら、国民のニーズを満たす改善策を考え 出すことがこの仕事のおもしろさだと思います。

みなさんの知恵やこれまでの経験をぜひ総務省でよりよい行政の 実現のために生かしてみませんか?

行政評価局評価監視官付

藤田 浩輔

PROFILE

Kosuke Fujita

平成23年4月 総務省採用

中部管区行政評価局

行政評価局行政相談課行政相談業務室 平成24年4月

平成25年4月 行政評価局総務課

平成26年4月

12:00_{PM}

ランチ

3

今日は近くの庁舎の食堂 で職場の同僚とランチ のエネルギーを補給。気



15:00_{PM}

調査

調査中のテーマに関係する省庁へ のヒアリング調査。若手職員でも、 ます。また、先輩職員の調査手法を 見て勉強する貴重な機会にもなり



16:30_{PM}

上司への説明

調査の結果や進捗状況などを上司に説明。調査結果 をわかりやすく整理し、分 調査結果を踏まえて、必要な 改善策や今後の調査の方向 を検討します。

